（別記様式第 15 号）

令和３年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	南箕輪村

No.	事　業　項　目	事　　業　　名
1	木を活かした力強い産業づくり	地域材おもちゃ作成業務
事　業　費　　７７０，０００　円　（うち支援金：７１１，０００円）		

事　業　目　的

（別記様式第１号附表の「個別事業実績」から転記）

（１）地域の森林・林業の現状と課題

アカマツを主とした大芝村有林は、近年松くい虫の被害が甚大であり枯損木として処理されています。

古くから村民を中心に親しまれてきた森林であるため、単に松枯れ等で処分されるだけでなく、材として有効活用していくことも必要であると考えます。

（２）本事業の目的

（(1) の課題への対応方向について記載）

アカマツを含む地域材を使った木製品おもちゃに触れてもらい、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育んでいくとともに、地域材の普及・啓発を図ります。

事　業　内　容

（別記様式第１号附表の「個別事業実績」から転記）

（１）実施場所　南箕輪村（保育園）
（２）対象者　　南箕輪村
（３）実施方法　地域材おもちゃを作成し、保育園へ設置する。
（４）事業目標及び当年度事業量
①全体計画（令和３年度）
　地域材おもちゃの作成
②令和３年度計画（実績）
　地域材おもちゃの作成（森のままごとキッチン）

事　業　効　果

（別記様式第１号附表の「個別事業実績」から転記）

（１）事業実施による効果

（事業目的に対応する効果について記載）

アカマツを含む地域材を使った木製おもちゃであることで、より親しみを持っていただけると共に、木製品の温かみや優しさを伝え、地域材の利用へつなげる。

（２）継続性

（事業又は事業効果の継続性、発展性について記載）

地元をはじめ広域的な活用も検討していくことにより、将来的に更なる地域材の有効活用を図る。

（３）普及性

（事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載）

地域材を用いた木製品を実際に見て触れていただくことで､それらの温かみや良さが伝わり、今後の地域材の活用につながる。

事業の検証及び評価

（実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載）

（１）目標に対する成果の状況

地域材を用いた木製品に触れてもらうことで信州大芝高原みんなの森の紹介や地域材木製品の良さの周知に期待できる。

（２）課題

これまで地域材有効活用に関する事業を多くは行っていないため、継続的な事業として財源確保や木製品利用の必要性をさらに深めることが課題である。

（３）今後の取組方向

□事業を現行どおり継続する

（今後の事業実施見込について記載）

■事業内容を見直して継続する

（見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載）

村の木材の有効利用や活用方法を常に検討し、計画性を持った事業を継続的に実施していきたい。

□事業を継続しない

（継続しない理由を記載）